

日本クオリティ協議会主催

第3回 JAQシンポジウム

「DX・グローバル時代を切り開く品質立国日本の再生へ
～現場と経営をつなぐ次世代リーダーの育成～」

日時

2026年8月17日（月）13:00～17:15 ※ 終了後、名刺交換会を開催

場所

日本規格協会セミナールーム（東京都港区三田） & オンラインのハイブリッド開催

定員

会場50人、オンライン500人

参加料

無料

主催 日本クオリティ協議会

共催 (一社)日本品質管理学会、(一財)日本科学技術連盟、(一財)日本規格協会、(一社)日本能率協会、
(一社)品質工学会、(一社)医療安全全国共同行動、(一社)中部品質管理協会

協賛 日本マネジメントシステム認証機関協議会(予定)、NPO法人横断型基幹科学技術研究団体連合(予定)

後援 経済産業省、(一社)日本経済団体連合会(予定)、(公社)日本監査役協会(予定)

開催趣旨



■現在、日本は少子高齢化による労働力不足、社会全体を巻き込むIT進化の加速、そしてグローバル化という大きな波に直面しています。この激変する環境下で、次世代の日本の未来を担う人材をいかに育て、力量向上を図っていくかは、喫緊の最重要課題です。

■第3回シンポジウムでは、日本の国際競争力向上の実現のため、いかなる技術革新や経営戦略も、それを実現し、持続させる「人」、すなわちTQMの最も重要な構成要素の一つに焦点を当てます。

■特に、DX・グローバル化でのTQM推進にかかる人材の力量・評価にどのような課題があるかを問い、解決策を探求します。DX・グローバル環境下で活躍する企業の顧客価値提供事例と、それを通じて見える次世代リーダー・中間管理職に求められる人材像について紹介します。

■「DX時代・グローバルな製造・サービス提供の現場で、次世代リーダー・中間管理職の人材像（必要とされる管理技術、すなわちTQM、品質管理、品質工学等の考え方や手法の知識など）は変化するのか。」「その知識、スキル、そしてリーダーシップをどのように育成・評価し、実践適用できるようにすべきか。」次世代リーダー・中間管理職に求められる知識体系、教育、力量評価軸について議論します。

■製品・サービスを通じた顧客価値の創造に向けて、土台となる現場力の向上に努めながら、「現場の声を吸い上げ経営につなげ、経営の意図・方針を現場に展開する」という重要な役割を担う次世代リーダー・中間管理職の育成に役立てば幸いです。

■新時代を切り開く品質立国日本の再生のために、未来のリーダー人材及びその育成に携わる皆様のご参加を心よりお待ちしております。

プログラム(案)



No	時間	内容	講演者／出演者（敬称略）
1	13:00~13:05	開催挨拶	朝日 弘 (JAQ 代表幹事団体、日本規格協会理事長)
2	13:05~13:15	来賓挨拶	経済産業省
3	13:15~13:20	シンポジウム開催の主旨	山田 秀 (JAQ会長、日本品質管理学会会長)
4	13:20~14:10	基調講演 DX・グローバル化におけるTQM人材の力量・評価の課題 — AIとの協働プロセスにおける人の役割と意思決定 —	渡辺 美智子 (立正大学 教授)
5	14:10~15:00	企業事例 1 コマツが目指すDXの姿と顧客価値創造 — KOM-MICS活用によるDX時代のものづくり —	大久保 雅生 (株)小松製作所 生産本部 生産技術部長)
6	15:00~15:50	企業事例 2 グローバル取引時代における品質保証の進化と人材育成	永井 康彦 (積水化学工業(株) 高機能プラスチックカンパニー 滋賀水口工場 品質保証部長)
-	15:50~16:00	休憩	
8	16:00~17:10	パネルディスカッション ～「DX・グローバルな環境下、求められる人材像と その育成に向けた課題と具体的取組み」～ ※ 質問は会場参加者のみ	モデレーター：山田 秀 JAQ会長 パネリスト：上記登壇者3名 及び 田中 茂 (積水化学工業(株) 高機能プラスチックカンパニー 技術・CS部／品質グループ長) 新藤 久和 (QC検定運営委員会委員長、 山梨大学 名誉教授)
9	17:10~17:15	閉会挨拶	
10	17:15~17:45	名刺交換会 ※参加は会場参加者のみ	

* 本シンポジウムの講演候補者の選定に関しては、性別に偏りがないように検討を行いました。